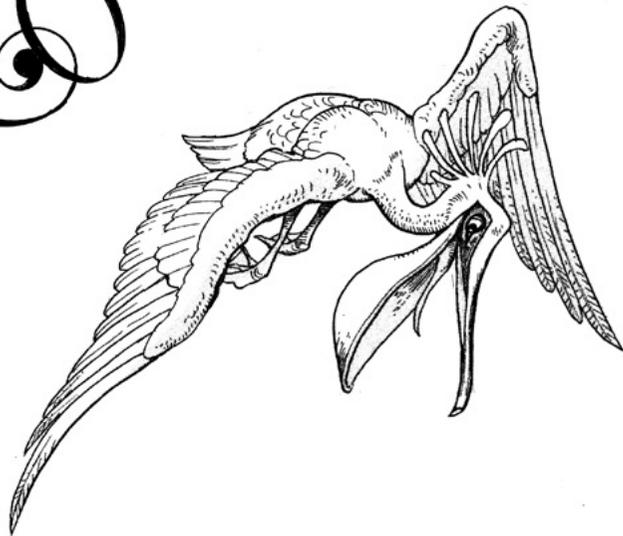
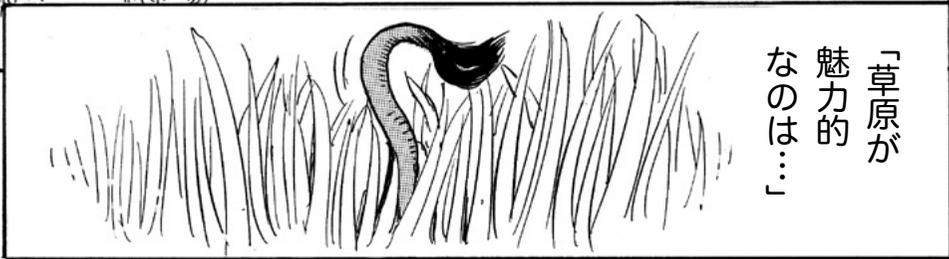


JARO  
IN  
SAVANNA



ジャロ イン サバンナ ケン タナカ  
BY KEN TANAKA

サバンナ  
草原が  
ざわめき  
風が囁い  
た――



「草原が  
魅力的  
なのは…」



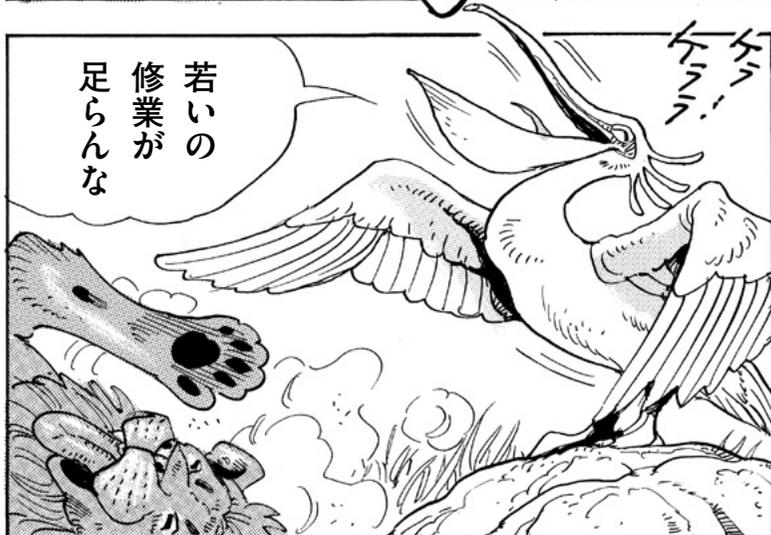
獲物を  
いっぱい  
……

隠して  
いる  
からさ





わっ  
でか  
すぎ  
!!



若いの  
修業が  
足らん

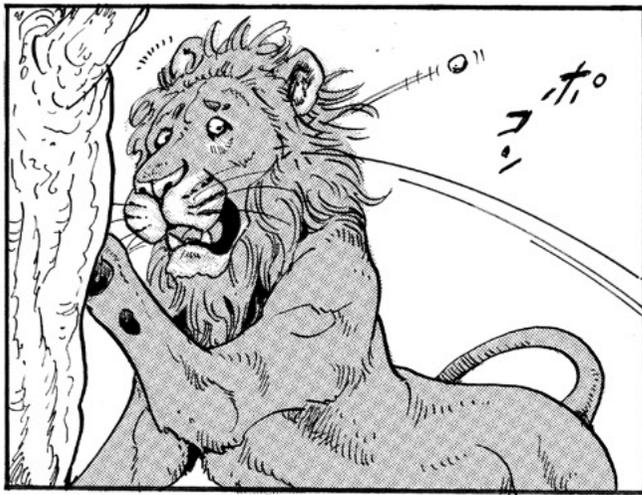
ケラ  
ケラ!!



ハア  
ハア



まあ  
サバ  
ンナの  
土に  
なるのは  
時間の問題  
じゃな



ポ  
コ  
ン



——たく  
たしかに俺は  
狩りが  
イマイチ  
だから  
……



わあっ！

頭が  
しびれ  
たよ！



サバナ  
ヒヒの  
子供か

仲間は  
チビだと  
バカにするので  
木のウロに  
入って

二度と  
出ない  
つもりで  
いたんだ

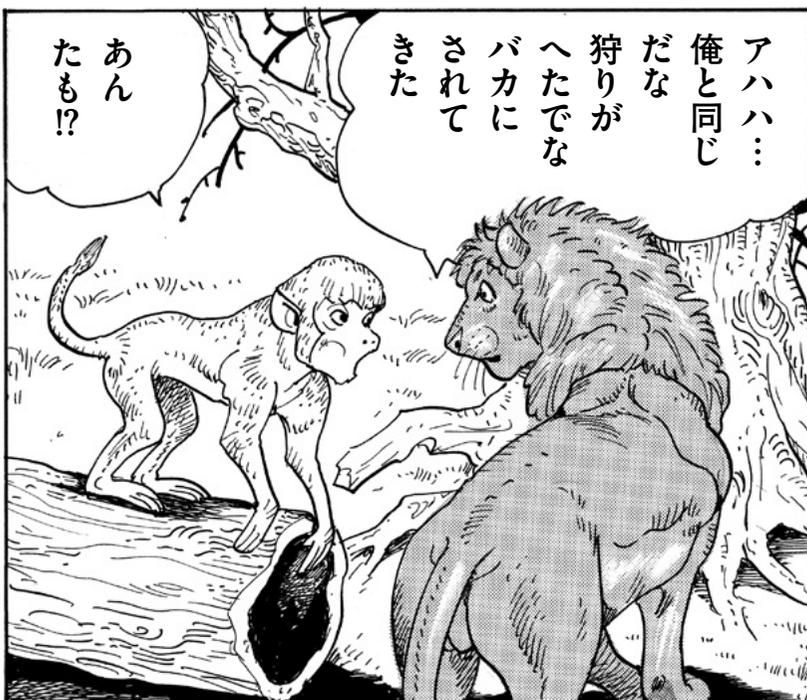


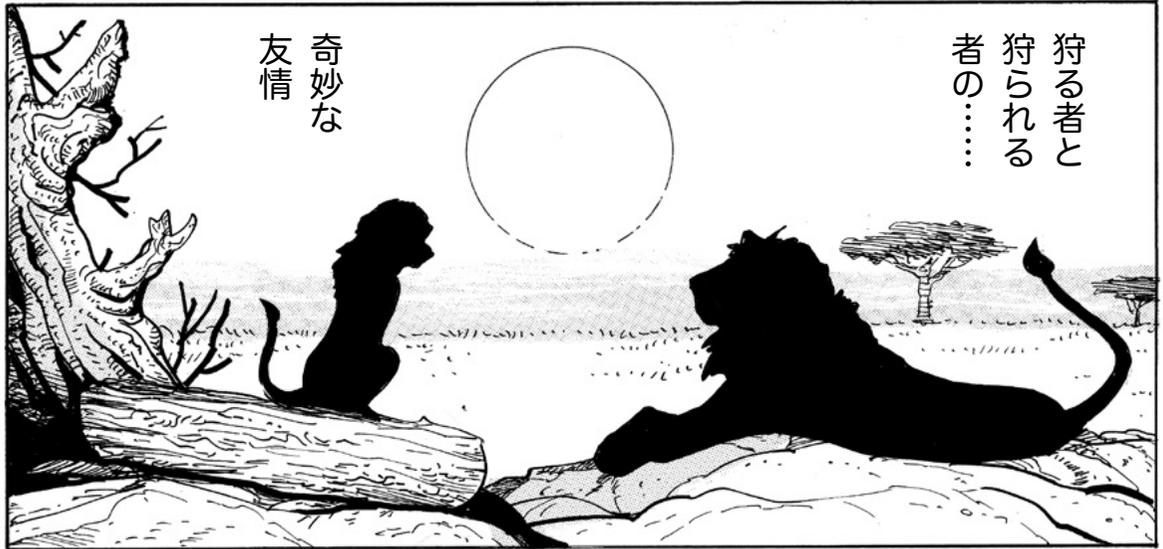
アハハ：  
俺と同じ  
だな  
狩りが  
へたでな  
バカに  
されて  
きた

あん  
たも！？

俺と  
……

同じ！





狩る者と  
狩られる  
者の……

奇妙な  
友情

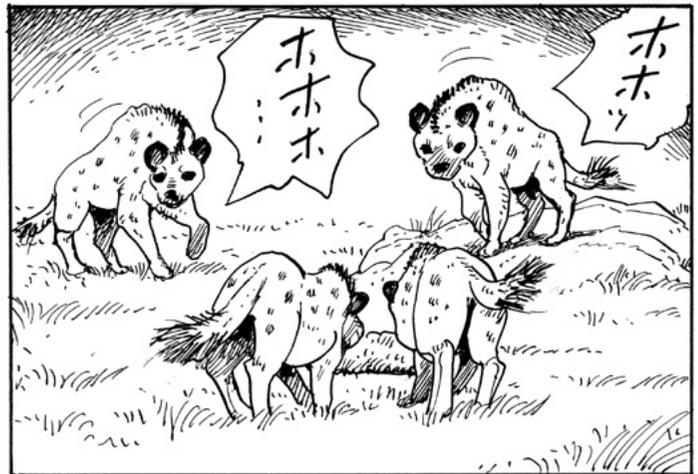


じゃあ  
また縁が  
あったらな

バイ  
またね

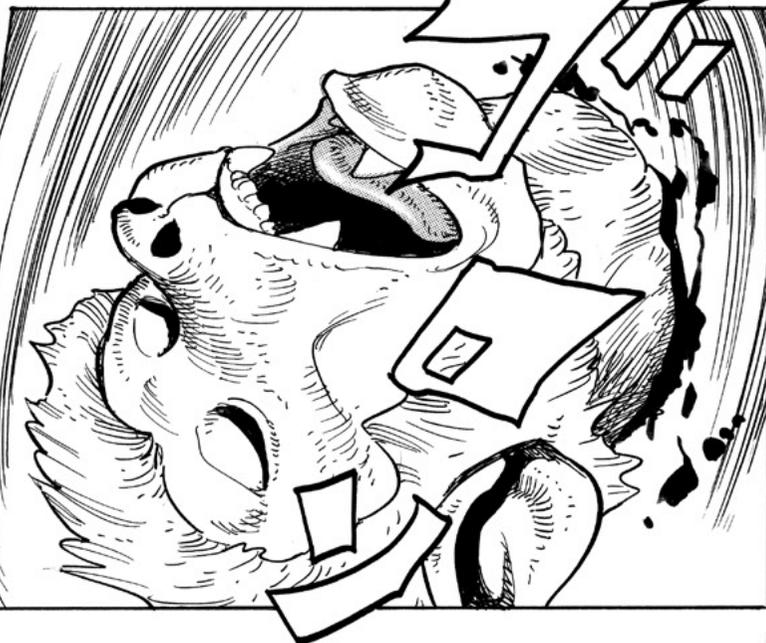


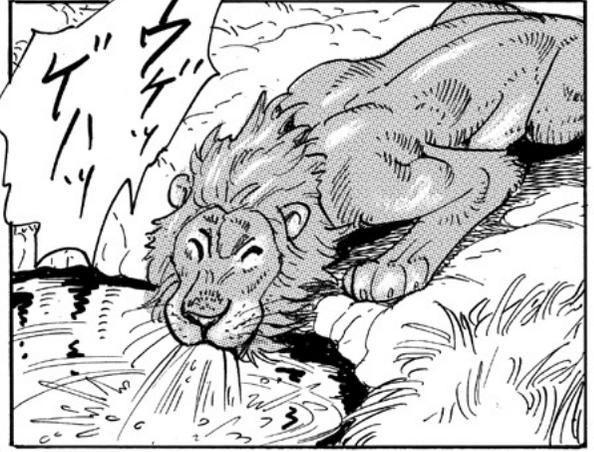
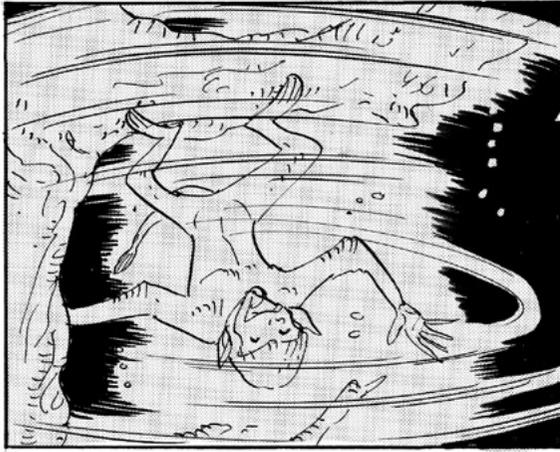
数日後



ホホホ

ホホッ

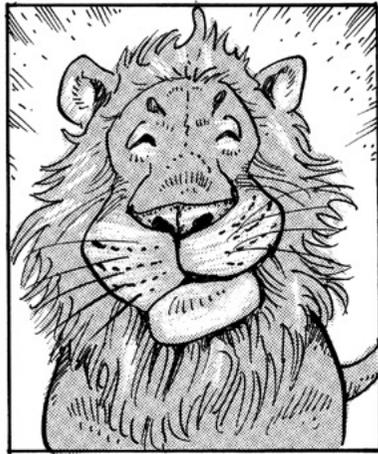






ちっ!  
仲間が  
呼んでる  
もう  
いくよ

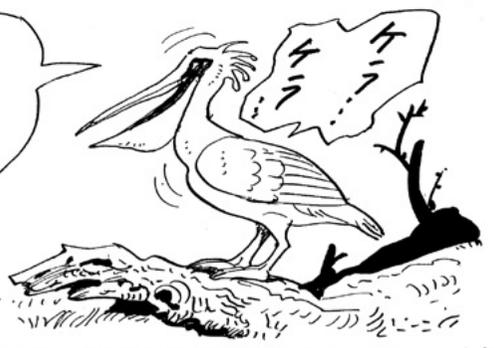
よか  
ったな  
群れに  
戻れたんだ  
チビくん



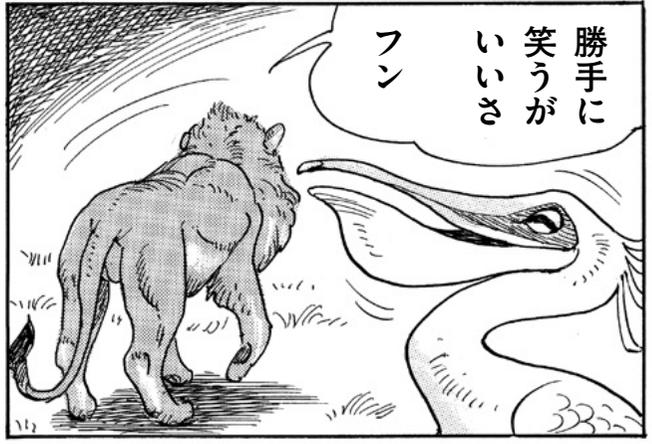
いい  
んだ  
本当  
に  
チビ  
だも  
ん



また  
ひとり  
か  
一匹  
の  
毒  
に  
の  
う

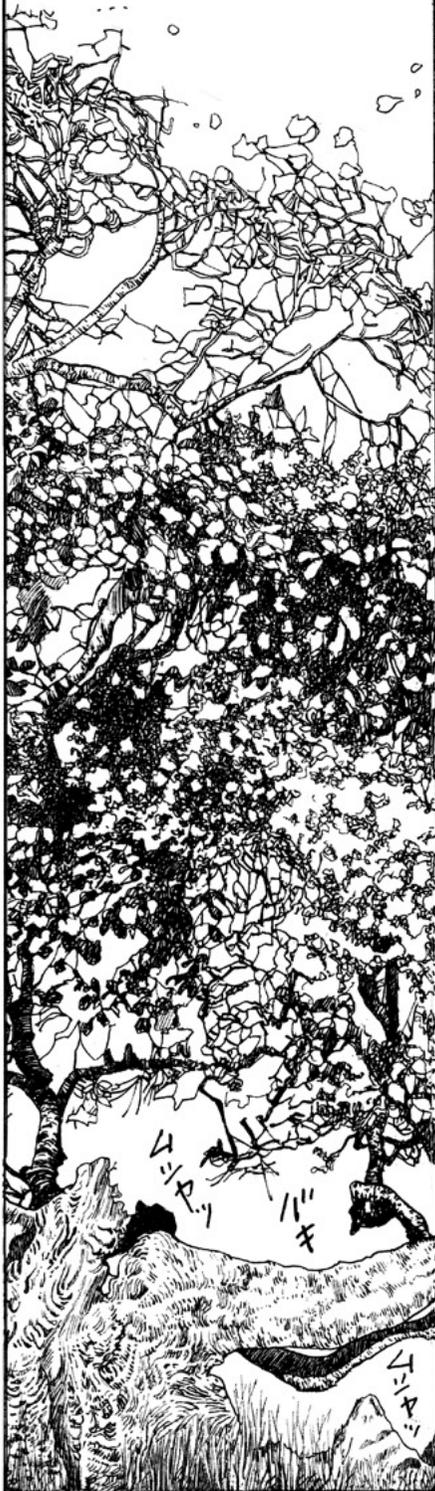


ホンジャ  
わしも  
仲間の  
ところ  
へ  
……



勝手に  
笑うが  
いいさ  
フン

風が囁いた  
「孤独という  
自由も悪く  
ないだろう  
ジァロくん」



たしかに  
一匹が寂しく  
ないといったら  
ウソだよ  
でもこうして  
獲物は全部  
いただきました



はなせ  
卑怯  
もの！

